

第6章 環境施策の体系

	目標	施策
1. 自然環境 	1. 森林と田畑の役割を見直し活用するまち	①森林の多面的機能の保全 ②農地の保全・育成・有効活用 ③緑と土にふれあう機会の創出
	2. ホタルが舞う美しい河川があるまち	①水循環の確保と適正利用 ②河川・小川などの水辺の保全
	3. 多様な動植物とふれあえるまち	①生態系の保全 ②希少生物・身近な在来生物の保護 ③エコツーリズムなどの推進 ④都市緑化の推進
2. 生活環境  	1. 空気がきれいなまち	①自動車排ガス低減対策 ②工場ばい煙・野外焼却対策 ③監視・調査体制の整備
	2. 水がきれいなまち	①生活排水処理対策 ②工場・事業所排水対策 ③監視・調査体制の整備
	3. 静かな暮らしができるまち	①道路交通騒音・振動対策 ②工場・事業所の騒音・振動対策 ③近隣騒音・振動対策 ④監視・調査体制の整備
	4. 悪臭や有害物質のないまち	①悪臭の防止 ②有害物質対策 ③監視・調査体制の整備
3. 循環型社会 	1. 循環経済（サーキュラーエコノミー）の実現するまち	①廃棄物の発生抑制（リデュース） ②資源の有効利用（リユース・リサイクル） ③ごみの不正な排出の監視・抑制
4. 地球環境  	1. 脱炭素を実現するまち	①再生可能エネルギーの利用促進 ②省エネ・省CO ₂ の推進 ③まちづくりにおける温室効果ガス削減の推進 ④移動や輸送における温室効果ガス削減の推進 ⑤自然災害のリスク低減 ⑥市民生活・健康や事業活動のリスク低減
5. 環境教育・協働  	1. みんなが環境保全に取り組むまち	①学校における環境教育・環境学習の充実 ②市民等に向けた環境学習の充実
	2. 環境の状況など情報の提供を進めるまち	①環境情報の把握 ②市民意識の把握 ③環境情報の整理 ④環境情報の公開 ⑤環境情報の発信
	3. 環境保全活動にみんなが参画し、協働できるまち	①環境を守り育てる仕組みづくり ②環境ボランティアの人材育成 ③広域的な環境への取組